



「野村通貨選択日本株投信」
「毎月分配型」

分配金のお知らせ

平素より「野村通貨選択日本株投信」毎月分配型をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年12月22日の決算において、為替の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、「トルコリラコース」の分配金を引き下げることとなりました。なお、それ以外のコースにつきましては、前回決算時の分配金額から変更ありません。

「トルコリラコース」の分配金引き下げの背景等については、次ページをご参照ください。

■ 分配金（1万口当たり、課税前）

ファンド	分配金額	分配金額		基準価額 (決算日)	基準価額 (分配金再投資)	
		(前回決算)	分配金額 設定来累計		(決算日)	(前回決算)
米ドルコース (毎月分配型)	10円	(10円)	1,130円	25,268円	27,107円	(30,730円)
ユーロコース (毎月分配型)	10円	(10円)	1,130円	19,970円	21,578円	(23,638円)
豪ドルコース (毎月分配型)	20円	(20円)	2,260円	17,070円	20,193円	(22,779円)
ブラジルリアルコース (毎月分配型)	30円	(30円)	5,940円	12,685円	21,737円	(23,646円)
トルコリラコース (毎月分配型)	30円	(50円)	5,630円	5,684円	10,843円	(12,172円)
メキシコペソコース (毎月分配型)	30円	(30円)	3,390円	19,234円	25,376円	(28,964円)
中国元コース (毎月分配型)	40円	(40円)	4,520円	23,468円	31,342円	(34,705円)
インドネシアルピアコース (毎月分配型)	40円	(40円)	4,520円	23,034円	31,136円	(35,095円)
インドルピーコース (毎月分配型)	60円	(60円)	6,780円	20,543円	32,021円	(36,782円)

前回決算：2022年11月22日

設定日：2013年6月27日

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

分配金は、投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

「トルコリラコース」の分配金引き下げの背景

今回の決算において、「トルコリラコース」の分配金を前回決算時の50円から30円に引き下げました。

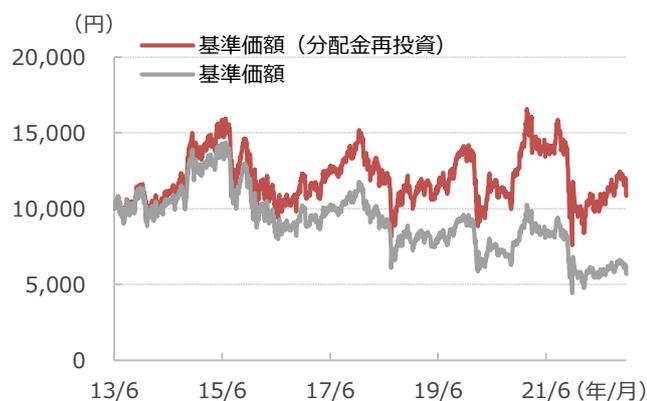
日経平均は、新型コロナウイルスの変異株検出やロシアのウクライナ侵攻などにより、2022年3月には25,000円割れまで下落しましたが、その後は上下動を繰り返しながらも下値を切り上げる展開となっています。

一方トルコリラは、2021年9月に、トルコ中銀が高インフレ下にもかかわらず政策金利を引き下げたことから急落し、対円で、直前の高値13.3円（2021年9月1日時点）から、わずか3ヵ月後の

12月20日には半値の6.5円となりました。その後は一旦反発したものの、利下げ政策が継続されたことから弱含みで推移しました。先月2022年11月にも2021年9月以降8度目となる利下げが実施され、売り材料となりました。

高インフレの原因は高金利だとするエルドアン大統領の持論に対しては懐疑的な見方が多く、トルコ経済や為替市場の不透明感は続くと思われます。このような投資環境に加え、5,000円台という「トルコリラコース」の現在の基準価額水準を鑑み、同コースの分配金を引き下げることにしました。

「トルコリラコース」の基準価額の推移



2022年12月22日現在

基準価額	5,684円
基準価額 (分配金再投資)	10,843円

期間：2013年6月27日（設定日）～2022年12月22日、日次基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

日経平均株価の推移



期間：2021年6月1日～2022年11月30日、日次
（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

トルコリラの為替レート（対円）推移

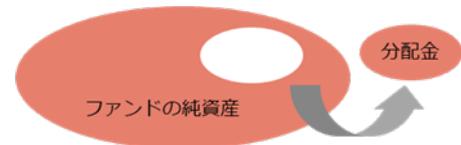


期間：2021年6月1日～2022年11月30日、日次
（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

分配金に関する留意点

● 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



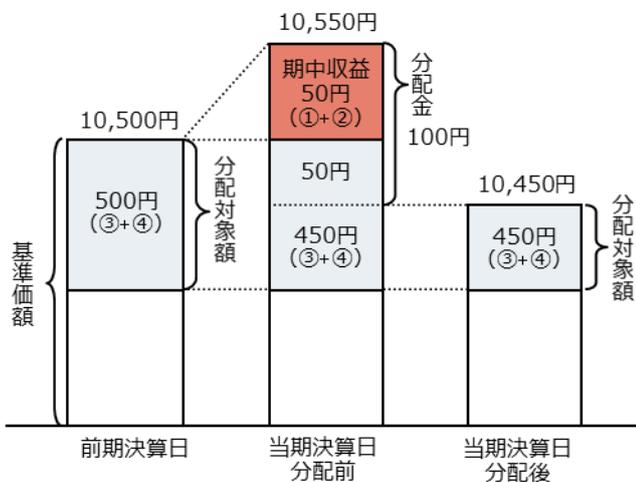
● ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

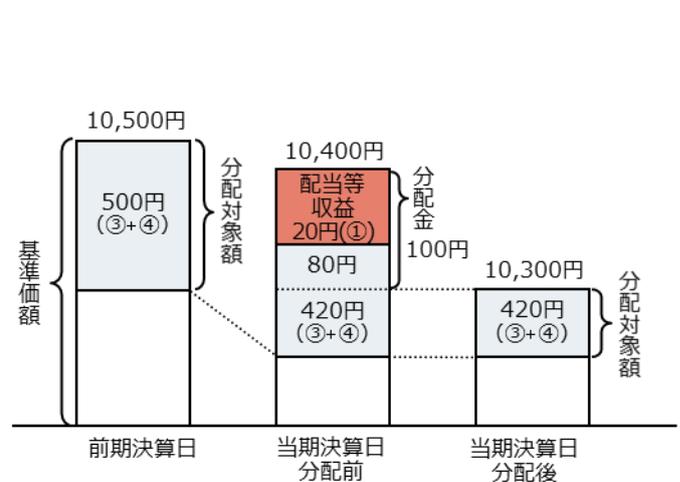
※ 分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



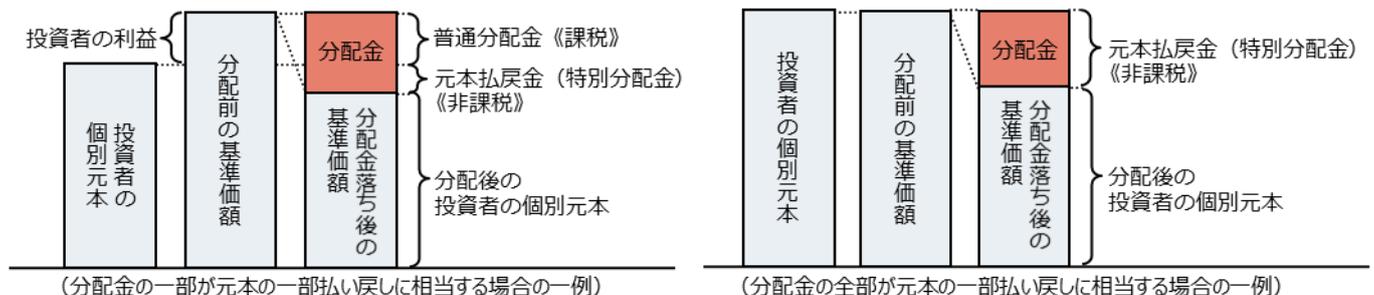
前期決算から基準価額が下落した場合



● 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

◆ 投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

「野村通貨選択日本株投信」

【ファンドの特色】

- 「野村通貨選択日本株投信」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる9のコース(米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、トルコリラコース、メキシコペソコース、中国元コース、インドネシアルピアコース、インドルピーコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))から構成されています。
- わが国の株式市場全体の動きを概ね捉えるとともに、各コースで定められた通貨[※]への投資効果を追求することを目的として運用を行ないます。
[※]「各コースで定められた通貨」とは、米ドルコースは米ドル、ユーロコースはユーロ、豪ドルコースは豪ドル、ブラジルレアルコースはブラジルレアル、トルコリラコースはトルコリラ、メキシコペソコースはメキシコペソ、中国元コースは中国元、インドネシアルピアコースはインドネシアルピア、インドルピーコースはインドルピーをいいます。
- わが国の株式を実質的な主要投資対象[※]とします。
[※]「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 円建ての外国投資信託「ノムラ・マネージド・マスター・トラストー・ジャパン・ストック・パッシブ・インベストメント・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
- ◆ 「ノムラ・マネージド・マスター・トラストー・ジャパン・ストック・パッシブ・インベストメント・ファンド」には、為替取引手法の異なる9のクラスがあります。

米ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。
ユーロコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、ユーロを買う為替取引を行ないます。
豪ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、豪ドルを買う為替取引を行ないます。
ブラジルレアルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り米ドルを買う為替取引、および米ドルを売りブラジルレアルを買う為替取引を行ないます [※] 。
トルコリラコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、トルコリラを買う為替取引を行ないます。
メキシコペソコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、メキシコペソを買う為替取引を行ないます。
中国元コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り米ドルを買う為替取引、および米ドルを売り中国元を買う為替取引を行ないます [※] 。
インドネシアルピアコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り米ドルを買う為替取引、および米ドルを売りインドネシアルピアを買う為替取引を行ないます [※] 。
インドルピーコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り米ドルを買う為替取引、および米ドルを売りインドルピーを買う為替取引を行ないます [※] 。

[※]米ドルの取引を経由せず、直接的に円を売り各クラスの通貨を買う為替取引を行なう場合があります。

- 通常の状態においては、「ノムラ・マネージド・マスター・トラストー・ジャパン・ストック・パッシブ・インベストメント・ファンド」への投資を中心とします[※]が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

[※]通常の状態においては、「ノムラ・マネージド・マスター・トラストー・ジャパン・ストック・パッシブ・インベストメント・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■ 外国投資信託「ノムラ・マネージド・マスター・トラストー・ジャパン・ストック・パッシブ・インベストメント・ファンド」の主な投資方針について■

- ◆ 日本企業の株式を主要投資対象とし、わが国の株式市場全体の動きを概ね捉えるとともに、各クラス名に表示されている通貨への投資効果を追求することを目的として運用を行ないます。
- ◆ 株式への投資にあたっては、代表的なわが国の株価指数[※]を構成する株式に主に投資を行ない、当該株価指数の動きを概ね捉える投資成果を目指して株式ポートフォリオを構築することを基本とします。
[※]日経平均株価とします。ただし、変更する場合があります。
- ・運用の効率化を図るために、わが国の株価指数を対象とする株価指数先物取引(日本以外の市場等で取引されているものを含みます。)を活用する場合があります。

■ 指数の著作権等について■

日経平均株価(日経平均)に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は本商品を保証するものではなく、本商品について一切の責任を負いません。

* 上記は2022年8月19日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「野村通貨選択日本株投信」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。
- 分配の方針

◆ 毎月分配型

原則、毎月22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。

◆ 年2回決算型

原則、毎年5月および11月の22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【当資料で使用した市場指数について】

- 日経平均株価(日経225)に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、商品を保証するものではなく、本商品について一切の責任を負いません。

「野村通貨選択日本株投信」

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、各ファンドは、投資対象とする外国投資信託において為替取引を行ないますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

(2022年12月現在)

【お申込メモ】

- 信託期間 【米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、メキシコペソコース】
2028年11月22日まで(2013年6月27日設定)
【ユーロコース、トルコリラコース、中国元コース、インドネシアルピアコース、インドルピーコース】
2023年11月22日まで(2013年6月27日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月22日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、5月および11月の22日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入価額
●ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
- ご換金価額 ※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
*販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

●課税関係

個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.649%(税抜年0.59%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年 1.139%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、トルコリラコース、メキシコペソコース	・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行
ブラジルリアルコース	・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・サンパウロの銀行 ・ブラジル商品先物取引所
中国元コース	・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・上海の銀行 ・シンガポールの銀行の休業日かつ香港の銀行の休業日である日
インドネシアルピアコース	・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・ジャカルタの銀行 ・シンガポールの銀行の休業日かつ香港の銀行の休業日である日
インドルピーコース	・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・ムンバイの銀行 ・シンガポールの銀行の休業日かつ香港の銀行の休業日である日

◆お申込みは **野村証券**

商号：野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 /
一般社団法人金融先物取引業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 /
一般社団法人日本投資顧問業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。